

(様式第13号)

設計図書等に対する質問書への回答

※ 章、節、項については建造仕様書への質問の際のみ記載する

No.	図面番号	章	節	項	項目	質問	回答
1	例) H-000-000	1	1-5		速力及び航続距離	本節に記載の船速について、保証要件に入れる必要はありますか？	今回、主機などの仕様は発注予定者より指定するため、船速および航続距離を保証要件に入れる必要はありません。
2	H-001	1	1-3		最大搭載人員	沿海区域における人員数が記載されているが、航行区域は沿海という認識でよろしいか。	「沿海区域」の認識で合っております。 建造仕様書の2章 1.構造 1-1 船殻構造 1.一般 の記載も併せて参照下さい。
3	H-001	1	1-5	2	速力及び航続距離	当該項目は保証事項になるのでしょうか	建造仕様書の1章1-5節の船速および航続距離に係る事項は保証事項とはなりません。
4	H-001	1	1-8	3	外注品	外注先は優秀かつ信頼出来る製造所とする。と記載されているが、どのような基準にて精査されるのでしょうか。	建造中やアフターサービス関係のトラブルが発生した場合の最終的な責任の所掌は、外注先委託部分まで含め貴社となるので、貴社が信頼できる会社様を採用下さい。 信頼足りえるかの判断基準として、弊会が考える基準は下記の通りです。 ・ 貴社としてこれまで外注実績があり、信頼のできる会社と認識されていること。品質管理や技術力、過去の実績や評判などをベースにご判断下さい。 ・ 暴力団などの反社会勢力とのつながりがないこと。 ・ 債務超過や手形の不渡りなど財務状況が著しく悪化していないこと。 ・ 外注先が所在している都道府県及び市町村から公共工事等の指名停止処分を受けていないこと ・ 新規外注先を採用する場合は、念入りの確認をすること。

(様式第13号)

設計図書等に対する質問書への回答

※ 章、節、項については建造仕様書への質問の際のみ記載する

No.	図面番号	章	節	項	項目	質問	回答
5	H-001	1	1-8	4	外注品	外注先において造船所及び船主の立会い検査を実施し、完全かつ満足な状態にあることを確認の上、造船所に搬入する。と記載してあるが、全ての外注品に対して適用されるという認識でよろしいか。	どの外注品に対して、ここで言う「確認」を行うかは、個別に判断する予定です。 詳細は、貴社と建造監督との図面認証作業や工務監督業務中のやり取りの中で決めるものと考えております。
6	H-001	1	1-10	2	諸試験	2. (7) で非常用バッテリーを使用した起動試験を含むと記載がありますが、第4章 電気部の蓄電池の項に非常用蓄電池の記載がありませんが、非常用バッテリーは造船所所掌でしょうか	主機始動用に本船に搭載する非常用バッテリーについては、造船所所掌にてお願い致します。
7	H-001	1	1-13	5	引渡し	回航に要する燃料油、清水および食料は造船所の負担と記載がありますが、引渡時に燃料油及び清水を満タンにする必要はありますでしょうか	ご質問内容ですが、引き渡し地が長崎であり、引き渡しの際に燃料と清水を長崎で満タンにすることが造船所側として難しいことが理由のご質問と理解します。 長崎にて造船所が燃料および清水を満タンにすることが難しい場合、引渡時に、満タンの状態に不足している燃料油および清水分の価格を、本船価格から差し引いた金額を最終支払いの際に弊会より造船所にお支払い致します。 なお、燃料油および清水の単価は引渡のタイミングで別途相談するものとします。
8	H-001	1	1-14	4	その他	両者記述について相違ある場合は担当仕様書による。と記載してあるが、仕様書に従うという認識でよろしいか。	ご認識の通りです。
9	H-001	2	1-1	10	舵及び舵軸管	SUS316Lは一部部材の確認が取れないため供給不可の可能性がありますが、そのためSUS316としても問題ないでしょうか	SUS316Lの供給が不可である場合は、SUS316でも可とします。本船の応札価格はSUS316仕様にて作成ください。

(様式第13号)

設計図書等に対する質問書への回答

※ 章、節、項については建造仕様書への質問の際のみ記載する

No.	図面番号	章	節	項	項目	質問	回答
10	H-001	2	1-1	10	シャフトブラケット	SUS316Lは一部部材の確認が取れないため供給不可の可能性がありますが。そのためSUS316としても問題ないでしょうか	SUS316Lの供給が不可である場合は、SUS316でも可とします。本船の応札価格はSUS316仕様にて作成ください。
11	H-001	2	1-1	10	シャフトブラケット	取付は溶接ではいけないでしょうか？	取付は溶接でも可とします
12	H-001	2	1-2	3	その他	SUS316L製とありますが、SUS304ではいけないでしょうか？	海水へ曝露する、あるいは曝露の可能性のある箇所はSUS316L製で対応願います。 海水への曝露が無い箇所についてはSUS304仕様でも構いません。
13	H-001	2	1-3		塗装	塗装デザインは船主より提供されるのか。	特に塗装デザインの提供予定はございません。 ただし、下記については指定する予定です。 1, 塗料の色の指定 2, 日本財団ロゴの塗装あるいはロゴを入れたパネルの設置 参考としてFig.13-1を添付します。
14	H-001	2	1-4	12	電気防蝕板	船底部の防蝕板取付はレセス式と記載がありますが、工数の低減、構造の簡略化を目的として造船所標準の外板へのボルト固定方式に変更させて頂けないでしょうか。	外板へのボルト固定式への変更で了承致します。
15	H-001	2	2-1	13	諸室艤装	操舵室の天井の窓にロールスクリーンを設置するように記載があります。天井の窓は斜めになっているかと思受けられますが、どのようなロールスクリーンをどのように設置する想定になるのでしょうか。	ロールスクリーンの配置が困難である場合、ロールスクリーンと同様に日よけの機能を担保できる仕様にしていただければ問題ございません。 最優先交渉権者となられた際に実施する技術打ち合わせにて、どのような仕様にするかをご提示ください。

(様式第13号)

設計図書等に対する質問書への回答

※ 章、節、項については建造仕様書への質問の際のみ記載する

No.	図面番号	章	節	項	項目	質問	回答
16	H-001	2	2-1	13	諸室艙装	客室に旅客12名と船員2名の椅子席を設けるようになっていますが、同一区画で旅客と船員の定員を規則取ることが可能かをご確認されておりますでしょうか	JCIに確認し、問題ない旨確認済です。
17	H-001	2	2-8	16	救命設備	救急箱に入れる医薬品は丁種でよろしいでしょうか	丁種で問題ございません。
18	H-001	2	2-8	16	救命設備	Jason's Cradleがどのような物か不明なため詳細をご教示願います	Jason's Cradleの使用方法を示した資料 (Fig.18-1) を添付します。 併せて、Jason's Cradleメーカーの製品カタログ (Fig.18-2 今回我々が想定するサイズの型番は「IMC-JCSTD04B」です) と、取付方の提案書 (Fig.18-3) を添付します。
19	H-001	2	2-9	16	消防設備	ファイヤーブランケットのサイズは指定ありますでしょうか	120mm x 120mmのサイズの物を搭載下さい。 参考として、GWOの訓練に用いられている製品の画像Fig.19-1を添付します。
20	H-001	2	2-10	16	通風装置	旅客室の通風装置は賄室と兼用しているとの認識で宜しいでしょうか。	ご認識の通りです。
21	H-001	2	2-15	18	昇降装置	客室～操舵室のは木製梯子を設置するように記載がありますが、製作の都合上、鋼製に変更させて頂くことは可能でしょうか。	鋼製に変更で問題ございません。
22	H-001	2	2-17	20	諸管装置及び付属設備	操舵室デッキから操舵室までの経路とはどこになりますでしょうか	詳細図の作成時に検討願います。
23	H-001	2	2-17	2	管材表	ビルジ管にSUS316必要でしょうか？ 取入れ管のSUS316は暴露部でしょうか？ 海水管のSUS304は、STPG.S40かSUS316Lに変更した方が良くと思います。	ビルジ管はSUS316以外の仕様で検討いただいで問題ございません。 取入管について、ここで記載している取入管は給水管および給油管のことを指します。取入管についてもSUS316以外の仕様で検討いただいで構いません。 海水管についてはSTPG.S40 もしくは SUS316Lでの検討をお願いします。

(様式第13号)

設計図書等に対する質問書への回答

※ 章、節、項については建造仕様書への質問の際のみ記載する

No.	図面番号	章	節	項	項目	質問	回答
24	H-001	3	4	22	推進装置	プロペラ翼数はプロペラ設計次第で最適な翼数としても問題ないでしょうか	翼数の変更についてプロペラメーカーとの検討結果の連絡をお願いします。
25	-				納入期限	令和9年2月26日(金)よりも早い引渡は問題ないでしょうか。 前倒し可能な期限があればご教示願います	特に前倒し期限は設けておりません。 個別にご相談できればと思います。
26	-				価格高騰	入札～引渡までの間に材料費が大幅に高騰した場合、価格転嫁の交渉は可能になりますでしょうか	船価については、最優先交渉権者と造船契約前に技術打ち合わせを行い、仕様と船価を再精査した上で契約締結を行います。 契約締結以降の船価変更は想定しておりませんが、仕様の変更が生じた場合は、追加費用（減少含む）について、変更契約を締結することを想定しております。
27	-				喫水	プロペラ計算を実施するため重量重心トリム計算書を頂くことは可能でしょうか。難しければ50%載貨状態の船首尾喫水、平均喫水、排水量、LwL、S、Cb、Cp、Cm、Cw、満載状態の船首尾喫水、LwL、S、Cb、Cp、Cm、Cwをご教示願います。	重量重心トリム計算書は造船所にて図面を作成し検討いたします。